

令和2年度（2020年度）八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 道徳（1/1枚目）

調査の観点	発行者名	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版	日本文教出版	学研教育みらい	廣済堂あかつき	光文書院
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)内容項目の四つの視点について、目次と教材ごとに色とマークで分かりやすく示している。教材ごとの内容項目を児童に分かりやすい言葉で示している。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)学習活動と読み物が2つの冊子に分けられていて内容をおさたり、記録を残したりやすくしている。教材ごとに内容項目の四つの視点の色とマークで示している。 【学習活動用冊子あり】 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)内容項目の四つの視点について、色とマークを使って分かりやすく表示されている。教材ごとの内容項目を児童に分かりやすい言葉で示している。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)教材ごとに内容項目の四つの視点がマークで分かりやすく示されている。内容項目と現代的な課題との関わりが示されており、何を学ぶかを分かりやすく示している。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)教材に対応したワーク型ノートがあり、学習しやすいように工夫されている。四つの視点が色とマークで、教材ごとの内容項目を児童に分かりやすい言葉で示している。 【専用ノートあり】 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)教材ごとに色とマークの表示を使い、内容項目の四つの視点が示されている。四つの視点を児童にもわかりやすい言葉で示している。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)内容項目の四つの視点は巻末に色分けしてまとめている。 【別冊ノートあり】 (2)「こころのしおり」学びの記録と、内容項目ごとの学びができる工夫をしている。文字の分量、挿し絵等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	<p>(1)内容項目の四つの視点を目次と教材ごとに色とマークで示している。教材ごとの内容項目を児童に分かりやすい言葉で示している。 (2)文字の分量、挿し絵や写真等、各学年に相応しいものを掲載している。</p>	
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)導入に役立つオリエンテーションのページを設け、話し合いの留意点などをまとめている。また、内容項目の4視点をマークで示して目次「これから1年間で学ぶこと」にまとめてあり、見直しをもって学習に臨める。 (2)各学年の配当時間の授業を行うための教材を用意している。※児童の主な記入スペース：巻末に1時間ごとの振り返り、長期休業前に記入する箇所がある。</p>	<p>(1)別冊「まなび」の教材の中に聞き方・話し方、話し合いの仕方を設けている。また、「考えよう・みつけよう」という議題で整理している。 (2)年間35時間分(1年は34時間)の道徳授業を保障するための教材数で構成している。読み物教材は教員の範読が5分程度を想定し、45分授業に適した分量を設定している。※児童の主な記入スペース：別冊「まなび」で内容項目により、発問に対し書く欄あり。</p>	<p>(1)本文のあとに「考えよう・深めよう」のコーナーを設けた。「やってみよう」で学びを体験的に生かしたりし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道筋を書いている。 (2)各学年とも、配当時間は35時間(1年は34時間)を想定し、年間を通してゆとりをもって授業展開ができるように配慮している。 ※児童の主な記入スペース：吹き出しに台詞を入れる、感想欄、最後に振り返りのページ等がある。</p>	<p>(1)本文のあとに「考えよう・話し合おう」のコーナーを設けている。「話し合いのコツ」として対話の手立てがわかるページを設けている。 (2)発達段階を考慮し、教材のページを設定している。挿絵を配して読みの負担を軽減している。※児童の主な記入スペース：学びの記録として、1時間の授業に1～2行程度書く欄がある。(1年生は「まなび」色塗り)まとめページが巻末にある。</p>	<p>(1)教材文のあとに「考えてみよう」「見つめよう」「生かそう」のコーナーを設けており、主体的・対話的に話し合う場面を設定している。 (2)内容項目は過不足なくおさえている。 ※児童の主な記入スペース：別冊「道徳ノート」があり、発問に対する自分の考えを記入したり、振り返りも行ったできるようにしている。自由に書き込めるスペースもある。</p>	<p>(1)教材文のあとに「やってみよう」「つなげよう」「深めよう」のコーナーがあるもあり、役割演技をしたり、日常と関連付けて考えさせたりすることで、道徳的価値を深めることができる。 (2)全体の分量・配分は児童の過重な負担感を与えないように配慮している。 ※児童の主な記入スペース：「つなげよう」「深めよう」のコーナーで、自分の考えを書く欄を設けている。巻末には「心の宝物」のページがあり、1年間の振り返りを書くことができる。</p>	<p>(1)教材文のあとに「考えよう・話し合おう」のコーナー内に、学習の道筋が示されている。学習課題が明確になり、発問に対し主体的に考えることができるようになっている。 (2)発達段階を考慮した教材のページを設定している。年間35時間(1年は34時間)を想定し、付録として3教材を納めている。 (2)発達段階を考慮した教材のページを設定している。別冊「道徳ノート」があり、教材に合わせた構成で発問に対する自分の考えを書けるページがある。</p>	<p>(1)「問いをもつ」→「考える」→「まとめる」→「広げる」という学習の流れが分かりやすく示されており、児童が主体的に学習に取り組むことができる。 (2)各学年の配当時間の授業を行うために十分な数の教材を掲載している。巻頭のオリエンテーションが8ページ程度あり、親しみやすい構成になっている。 ※児童の主な記入スペース：巻末に「学びの足あと」として、毎時間の振り返りを行わず付録で記入できるページがある。</p>	
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)本文は5行ごとに番号を配置し、行数を把握しやすくなるよう工夫している。振り仮名にはユニバーサルデザイン書体を採用し、読みやすさに配慮している。 (2)フレキシブルなAB版を採用し、余白や行間にゆとりをもたせ、くっきりと見やすくしている。美しい挿絵や写真を掲載しているが、多様な色を控え、全ての児童が支障なく学習できるようカラーユニバーサルデザインに配慮している。</p>	<p>(1)標準的な教科書体を使用し、発達段階に応じた文字の大きさを使用している。学年配当漢字については、全て振り仮名を付けている。1、2年生は文節で改行している。ユニバーサルデザインフォントを使用している。 (2)カラーユニバーサルデザインの配慮をしており、マークは色とデザインを双方から判別できるように工夫している。</p>	<p>(1)2年生7月までの教材を分ち書き、文節改行で表している。その学年で学習する漢字には、その初出箇所、固有名詞については全て振り仮名を付けている。教材の内容理解のために、必要な解説を脚注として加えている。 (2)横広のAB判で、挿絵や写真、図版を大きく掲載している。印刷が鮮明で読みやすい色調である。カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。</p>	<p>(1)1、2年生は文節分ち書きで配慮している。当該学年の配当漢字全てに振り仮名があり、読みの負担軽減のための配慮をしている。 (2)カラーユニバーサルデザインに配慮し、文字の大きさや配置、写真や絵の色使いや配置、枠組みを使ったデザイン処理など、色覚特性をもつ児童に配慮して、レイアウトは色調や色の組み合わせに細部まで配慮している。</p>	<p>(1)当該学年以上の漢字には、全てに振り仮名を付け、読みの抵抗を少なくするように配慮している。スムーズに読み進められるように文の割り付けは、読みやすいまとまりで改行している。 (2)大きな判型(AB判)で迫力のある写真資料を使用する等、レイアウトを工夫している。カラーユニバーサルデザインの観点から、レイアウトは色調や色の組み合わせに細部まで配慮している。</p>	<p>(1)児童の発達の段階に応じた、文字の大きさ、書体や行間に配慮している。ユニバーサルフォントを使用し、活字は大きく、見やすい書体となっている。学年で学習する漢字や固有名詞に振り仮名を付けている。 (2)判型はフレキシブルな紙面で構成するとともに、イラストを大きく扱い、児童にとって見やすく、親しみやすい紙面となるよう工夫している。カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。</p>	<p>(1)未習漢字には、全てに振り仮名を配してある。4年生までは発達に応じた分かりやすい表現を用い、5年生以降は必要に応じて脚注を付けている。 (2)判型はフレキシブルな紙面で構成するとともに、イラストを大きく扱い、児童にとって見やすく、親しみやすい紙面となるよう工夫している。カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。</p>	<p>(1)3年生までは全ての漢字に振り仮名がある。前学年までに習った漢字の使用を基本とし、文節で改行を行うなど読みやすさのための配慮をしている。脚注の説明がある。 (2)大判化(A4変形版)を採用することにより、写真やイラストが引き立つよう工夫している。カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。</p>	
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)内容項目を4つの視点から分類・整理している。教科書を導入教材、本編教材、付録の3つで構成している。 (2)教材を扱う前に児童に主題を提起し、主体的に考えられるように工夫している。 (3)家族や地域活動に関する題材を取り上げ、家庭や地域社会の一員としての役割と責任の自覚を深められるようにしている。</p>	<p>(1)教科書が「きづき」「まなび」に分かれており、授業の最初から最後まで「まなび」が使えるように配慮している。年間35時間教材を見渡せるチェック欄が、「読みもの」巻末に掲載している。 (2)別冊「まなび」等によって多様な学習活動を通して、主体的・対話的で、深い学びができるよう配慮している。 (3)「まなび」を持ち帰り、学校での学習を家庭や地域と共有できるようにしている。</p>	<p>(1)目次、索引は、内容項目の四つの視点で色分けし、指導者側に一目でわかるようにしている。内容項目ごとに教材をまとめている。 (2)教材を読む前に、価値についてどのように学習するのか、何が問題になっているのかなどを把握できるようにして、問題解決的な学習できるようにしている。教材の後に、考えたり、深めたりする視点を示している。 (3)地域の文化・伝統にふれ、地域の人々のために尽くした人物をとりあげている。</p>	<p>(1)年間を3つのまとまりに分け、A～Cをいずれかの視点に重点を置き、Dの視点は、年間を通してバランスよく配置している。 (2)教材末には「考えよう・話し合おう」「つなげよう」を設け、学んだことを自分に引き寄せて考えさせる活動など、問題解決型の発問を用意している。全体を3つの視点で分け、視点ごとに学びの記録の欄を設けている。 (3)地域参加型の学校行事を題材にした教材を、随所に配している。</p>	<p>(1)目次、索引は、内容項目の四つの視点で色分けし、指導者側に一目でわかるようにしている。道徳学習への導入のページに工夫がある。 (2)特設ページ「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」を設け、多様な学びを可能にしている。 (3)日本の地域資料や家庭との交流を題材とした教材を採用している。</p>	<p>(1)目次、索引は、内容項目の四つの視点で色分けし、指導者側に一目でわかるようにしている。 (2)特設ページ「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」を設け、多様な学びを可能にしている。 (3)日本の地域資料や家庭との交流を題材とした教材を採用している。</p>	<p>(1)視点ごと、内容項目ごとに教材を一覧に掲載している。 (2)3年生以上は学習の道すじの欄に、授業の基本的な展開が書かれており、見直しをもって学習ができようになっている。「学習を広げる」の部分で人物や他の本の紹介、関連する格言等を記載している。 (3)別冊についており、家庭での振り返りや地域に活かすような工夫がしてある。</p>	<p>(1)視点ごと、内容項目ごとに教材を一覧に掲載している。付録を含め、40教材を用意している。 (2)教材の冒頭に「問いかけ」が書かれている。児童が「問題意識」をもって学習へ向かうことができるように工夫している。発問等を教材の下に横書きに記している。 (3)家庭・地域との交流を題材とした教材や、「広げる」というページでは、考えたことを日常につなげるような活動を掲載している。</p>	
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・「いじめ」に重点を置いている。 ・他教科との関連を明示してある。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・「人権」や「いじめ」に重点を置いている。 ・別冊の道徳ノートがある。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・「いじめ」(生命尊重)に重点を置いている。 ・地域教材を意識して取り入れている。⇒東京都各学年1～2つ。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・「いじめ」や「情報」に重点をおいている。 ・4～6年学年では「自然」「世界」「共に生きる」ことについても重点的に扱っている。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・「いじめ」に重点を置いている⇒各学年の教材 ・別冊の道徳ノートがある。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・各学年「生命尊重」ともう一つの計2つに重点を置いている。 ・A4版サイズ ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・「生命」に重点を置き、高学年では「いじめ」「人権」を意識している。 ・別冊で道徳ノートがある。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	<p>・「生命尊重」「規則」と各学年によって違うもう一つの価値項目の計3つに重点を置いている。 ・デジタル教科書・教材がある。</p>	